

奈良女子大学は、しばしば「国のまほろば」と呼ばれる奈良＝大和の地に立地しています。しかしこれまで、ではその大和においてなぜ国が生まれ、日本文化が育まれ、日本といえば大和と言われるようになったのかについては、あまり考えてきませんでした。それは東京発（実は経由）の文明の地方への伝播装置であることを第一義的課題とした「官立学校」の弱点でした。しかし時は移り、今や、ニーチェに心酔し「汝の立つ所を深く掘れ、其處處には泉あり」と述べた「沖繩学」の創始者、伊波普猷の志に、誰も一定の共感を覚える時代になりました。我々も大和の地を深く掘らなくてはなりません。ならば、まず神話に包まれたこの国の成り立ちについて深く考えてみる必要があります。そこで企画したのが本シンポジウムです。奮ってご参加下さい。

国際シンポジウム

日本神話を論ず

3月17日（土）13：00～17：30 奈良女子大学 文学系 N202 講義室

保立道久 「吉野大名持神社と齊明天皇」

パネリスト 東京大学名誉教授 中世史

北條芳隆 「景観史から読み解く都と吉野」

パネリスト 東海大学 考古学

👁 ウェルナー・シュタインハウス

コメント 広島大学 考古学

ファン・ティー・トゥー・ジャン 「ベトナム神話と日本神話の比較」

パネリスト ハノイ人文社会科学大学 宗教史

小路田泰直 「『古事記』から『古事記伝』へ」

パネリスト 奈良女子大学 史学史

斎藤恵美

司会 奈良女子大学 古代史

主催 奈良女子大学

連絡先 奈良女子大学社会連携センター

kouza@jimu.nara-wu.ac.jp

TEL 0742-20-3734/FAX 0742-20-3958

申込
不要